

創立 1980年10月8日



ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0940 堺市堺区車之町西2丁1番30号 ポピア南海3階302号

Tel (072) 223-2300 番 Fax (072) 223-5005 番

URL : <https://www.sakai-kita.jp/>

E-mail : snrc@jasmine.ocn.ne.jp

例会日 毎週金曜日 午後0時30分

例会場 南海グリル 天兆閣別館4階「ローズ」 Tel: (072) 222-0131 番 (代表)

ガバナー(第2640地区) : 豊岡 敬

ガバナー事務所 URL : <http://rid2640g.com/toyooka/>

E-mail : toyooka@rid2640g.com

会長: 中川 澄 幹事: 綿谷伸一 広報委員長: 池田茂雄 編集者: 池田茂雄



四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

本日の例会

2021年12月3日(金)第1936回

卓話 「コロナ後の経済・金融動向について」

卓話者 株式会社 三菱UFJ銀行 堺支店

堺アセットコンサルティングデスク

副デスク長 渡邊 祐輔 様

紹介者 畑中 一辰 会員

今週の歌 「君が代」「奉仕の理想」

「パースデーソング」

お客様の紹介・出席報告・

会長の時間・委員会報告・

幹事報告・SAA報告

○会員・奥様誕生祝い(12月度)

泉谷一郎会員

塩見直子様 嶽盛幸子様

澤井ふみ様

○結婚記念祝い(12月度)

泉谷一郎会員



前回の例会

2021年11月26日(金)第1935回

卓話 「市電が走った昭和の大阪」

卓話者 米澤 邦明 会員

今週の歌 「奉仕の理想」「冬景色」

お客様の紹介・出席報告・

会長の時間・委員会報告・

幹事報告・SAA報告

<11月26日(金)の出席報告>	
会員数	30名
出席会員	24名
欠席会員	6名
ゲスト	0名
ビジター	0名

次回の例会

2021年12月10日(金)第1937回

卓話 「上半期を顧みて」

卓話者 中川 澄 会長

お客様 カンボジア スナードイ・クマエ孤児院

代表 メアス 博子 様



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22年度 国際ロータリーのテーマ

「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

国際ロータリー会長 シェカール・メータ (インド・カルカッタ-マハナガルRC)

卓 話

「市電が走った昭和の大阪」

米澤 邦明 会員



今回ビデオ鑑賞と言う形で卓話を行ないました。

そこで、週報にビデオの内容全文を掲載するには紙面が足りない、と言うより不可能ですので、要約するとともに私の感じたコメントなどを入れ、この週報に掲載させていただきます。

このビデオは、私の撮り溜めたライブラリーの中からチョイスしたもので皆様にご覧頂きたく上映いたしました。

舞台は、建設の槌音が響き渡る昭和 30 年代の大阪。大阪市内には地下鉄はまだ無く、道路には自動車や自転車にまじりチンチン電車やトロリーバスが走り、戦後の復興の勢いが感じられました。

大阪駅～淀屋橋～北浜2丁目～信濃橋～心斎橋～千日前～動物園前～天王寺～天王寺西門前～片町～鞆公園前～天保山棧橋

余談ですが、現在の梅田は、ビデオにもありましたが水捌けの悪い湿地帯で、稲作の為に土でかさ上げしたことから梅田と呼ばれるようになったそうです。

市電・トロリーバス・市バス・地下鉄など公共交通機関が変遷を遂げるなか、地上を走る市電・トロリーバスが徐々に廃止されていきました。

番組では取り上げていませんが、本来路肩を走るトロリーバスが路肩に駐車した自動車の為に通行出来なくなる所を良く見かけました。今の時代トロリーバスを復活すれば、駐車監視員の人数も減らすことが出来ると共に、排気ガスも減らすことが出来るかも知れません。また、地下鉄の駅周辺には“たちんぼ”と言うキップ売りのおばちゃんもいました。当時は回数券を切り売りして日銭を稼いでいたおばちゃんたちですが、今ではそのキップも電子化され改札もスピードアップしました。番組は、市電が走った頃の大阪を紹介して

いましたが、1970年の大阪万博から近代化は目まぐるしいものがありますが、それぞれの年代の会員がこの映像を見て感じる所があったと思います。ご視聴ありがとうございました。



会長の時間

会長 中川 澄



遺産分割のお話の続きです。今日は、被相続人が行った生前贈与がどのように扱われるかについてお話します。

被相続人が生前相続人に対し行った贈与は、原則として、遺産の前渡しとして扱われます。相続人が兄弟2人で、遺産は1000万円だけど弟は生前贈与で1000万円もらっていた場合、残った遺産は全て兄のものということになります。

相続人の一部が遺産又は生前贈与のもらいすぎのとき生じる「遺留分侵害額請求」においては、もっと扱いが複雑です。

「遺留分侵害額請求権」についてざっくり説明すると、被相続人が遺言や生前贈与によってその資産を特定の人にあげてしまっても、兄弟姉妹や甥姪以外の法定相続人は、必ず一定の範囲で遺産に関する権利が保障されますよ、ということです。遺留分の割合は、親などの直系尊属のみが法定相続人になる場合には3分の1、それ以外のケースでは2分の1です。法定相続人が複数ある時は、これを法定相続分に応じて分け取りします。遺留分計算の基礎となる財産額を計算するときも、遺産だけでなく、被相続人が行った生前贈与が問題とされるのですが、最近行われた民法改正

により、相続人に対する贈与で基礎財産に算入されるものが相続開始前10年間にしたものに限定されることになりました。平たく言うと、長男にできるだけたくさん資産を残したいと思ったときは、自分の寿命が尽きるより10年以上早く贈与しておけば、その贈与は遺留分額計算においてカウントされず、長男の権利が守られることとなります。

委員会報告

ホームページ委員会

「ホームページ用“お正月 集合写真”

撮影のご案内」

ホームページ委員長 藤永 誉



当クラブホームページの「お正月ご挨拶」用としての「集合写真」を、下記の通り撮影いたしたく、ご出席、ご協力のほどよろしく願いいたします。

記

日時 令和3年12月10日(金)

例会終了後

場所 例会場 南海グリル東店 3階

広報委員会

「ロータリークラブとは」

広報委員長 池田茂雄



私たちロータリークラブ会員は、毎週例会を開いて親睦を深め、地域社会や国際社会に向けて幅広い奉仕活動を行っております。

1. ロータリーの五大奉仕活動

(1) クラブ奉仕

クラブの機能を充実させるため、クラブ内で会員が取るべき行動に関わる活動である。

(2) 職業奉仕

事業及び専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるとい

う認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を生かしていくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。

(3) 社会奉仕

クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである。

(4) 国際奉仕

書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動、プロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や習慣、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動からなるものである。

(5) 青少年奉仕

指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。

2. ロータリーの目的

意義ある事業の基礎として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。具体的には次の各項を奨励することにある。

- (1) 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること
- (2) 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- (3) ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- (4) 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

3. ロータリークラブの誕生

1896年、ポール・ハリスは、自分の生涯をかける仕事は弁護士である事を決意して、シカゴで開業しました。当時のシカゴは、ゴールドラッシュの影響を受けて、荒廃の極みにあり、殊に人間関係は極度に乱れ、彼をたまらなく「寂しがり屋」に追い込みました。彼は、友人が商家の人々と楽しそうに語り合う情景をまのあたりに見せられ羨望と共に一つの考えが浮かびました。即ち、「多くの異なった職業からたった一人だけを選んで一つの組織を作り、政治や宗教に制限されることなく、お互いに寛容の精神をもって、親睦を図ることは、不可能ではない」という理想が生まれ、それを胸に秘めて5年間も考えつづけました。

1905年2月23日、ポール・ハリスは、5年間考え続けてきた一業種一人制の集まりを作って、お互いの事業の発展と親睦を図ることを、下記の集まった三人に述べ、色々と話し合った結果、全員の賛同を得て、2月23日、第1回の会合を開いたのが、ロータリークラブの誕生であります。ロータリーとは会員が持ち回りで順番に、集会を各自の事務所で開いたことから名付けられました。

- ・ポール P・ハリス 弁護士
- ・シルベスター・シール 石炭商
- ・ハイラム E・ショーレー 洋反物商
- ・ガスターバス E・ローア 鉦山技師

このクラブは、その後、着実に成長し、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数33,334、会員総数1,221,880人(2009年3月31日RI公式発表)に達しています。これらクラブをメンバーとして国際ロータリー(略称・RI)が構成されています。

4. 日本のロータリークラブ

我が国のロータリークラブは、1920年(大正9年)10月20日、当時、三井銀行の重役であった米山梅吉氏が東京にこれを創立し、翌21年4月1日、世界で855番目のクラブとして加盟承認されました。その後、第2次世界大戦の結果、一時国際ロータリーから脱退するのやむなきに至ったこともありましたが、その間もよくロータリーの精神を堅持して会合に務め、その神髄と組織を維持し、戦後、国際ロータリーに復帰するや、

ますます発展、現在では、北は北海道、南は沖縄まで、日本全土でのクラブ数は2,305、会員数94,845人(2009年5月末現在)に達し、なおすべての都市、すべての町にその理想の翼を広げる努力を続けております。会員は地域内の理想に燃える堅実な実業家、専門職業人の中から定款により、1業種1人を選び、(その後改定)週1回のクラブ例会出席によって、各種職域人の交友を通じて地域社会へのより多くの奉仕の機会を得ようとはかっております。

幹事報告

(1) 本日の配布物

- ・週報

(2) 他クラブ例会変更のお知らせ

<高石RC>

- ・12月21日(火)→同日午後6時～
「クリスマス家族会」
- ・12月28日(火)、1月4日(火)→休会
(定款第7条第1節により)

SAA報告

(50音順)

- 池田茂雄会員 人生100年時代到来、健康のため、昔やっていた社交ダンスを始めました。
- 奥野圭作会員 米澤さん、本日よろしくお願ひいたします。
- 塩見 守会員 米澤会員、卓話楽しみにしております。
- 城岡陽志会員 12月4日(土)昼の番組の「せやねん」に藤永君、宇瀬さんが出ます。よろしく。
- 中川 澄会員 米澤会員、卓話楽しみにしております。
- 永富久紀会員 例会欠席お詫び。
- 吉村博勝会員 米澤会員様、本日の卓話楽しみにしております。

合計24,000円